



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

2016/6/1発行

第 8 号

ベンジャミン日韓共同
徒歩プロジェクト

ベンジャミン日韓共同 徒歩プロジェクト

日本ベンジャミン人間性英才学校1期生が、韓国ベンジャミン学校3期生と一緒に、20日間(5月9日〜28日)の「ベンジャミン日韓共同徒歩プロジェクト」を達成しました。



韓国のトンへからプサン、そして日本の名古屋から東京を徒歩で横断しながら、人間性回復と地球市民意識を養うために、ゴミを出さない、自信回復の自己宣言、目が見えない状態を体験してみる、フリーハグなどのアクションを実践しました。



▲ 目隠しをした仲間を責任をもって導いて、リーダーの志や信頼を学ぶ

韓国のスケジュールを終え、19日に到着した日本・名古屋では、移動中に話し合ってた企画した「日韓地球市民青少年サミット」を開催しました。翌朝、東京を目指して出発し、最終目標の新宿駅で24名が揃ってゴールテープを切りました。



▲ 雨にも負けず! カップ姿でピース



▲ プロジェクト達成! 笑顔でゴール

日韓の校長からそれぞれねぎらいの言葉をいただいた生徒たちは、合計3885kmを踏破したプロジェクトの結果を報告しました。体験談を発表し、全員で地球市民宣言文の朗読も行ないました。



▲ 浜松や横浜で地球市民募集活動

報告会が行われた新宿学習館には、プロジェクトを見守ってきた多くの人が集まりました。



▲ 海辺で瞑想を通して自己省察

ベンジャミン人間性英才学校は

生徒が自己価値を高めて夢を実現できるよう導く1年課程の自己主導型代替学校です。「テスト」「成績表」「宿題」「教科授業」「校舎」のない環境で、地域社会や世間を学び舎とし、様々な出会いや体験活動を通して自分自身を見つめ直していきます。ベンジャミン学校の特徴の一つである「メンター」のサポートを受けながら、世界に役立つリーダーへと成長していきます。

5無
Nothing



校舎



教科授業



テスト



成績表



宿題

「生涯忘れられない体験だ」と語りながら涙を流したり、仲間感謝の気持ちを表現しました。また、「周りの友人を助けることのできる人間になる」と約束し、「今後、辛いことがあっても乗り越えてみせる」と宣言するなど、成長した姿を見せてくれました。



▲ 日韓リーダーの報告

